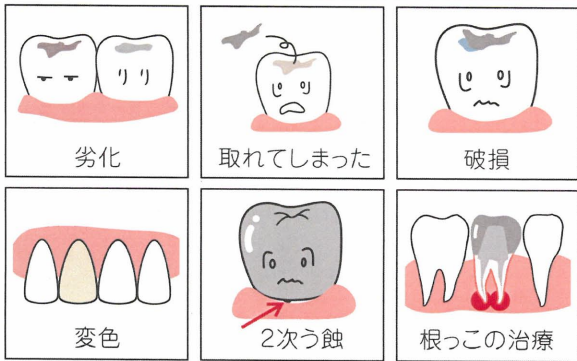




## 詰め物や被せ物は 長~く使う道具です

歯を削った後につける詰め物や被せ物は、一度付けると作り直しの必要がない限り数年間使い続けることがほとんどです。素材には保険適用と適用外があり、見た目・耐久性・費用なども違うので、自分に合った素材を選ぶことが大切です。ご不明な点やご質問などございましたらお気軽にご相談ください。

### 作り直す理由



### 「保険適用」

奥歯は銀歯、前歯は金属の表面に特殊な白いプラスチックを付けたものです。保険の被せ物・詰め物は治療で削った歯を保護する、食べる話すといった日常生活に支障をきたさないように行う治療のため、見た目を美しくする、自然な感じにする、といったことは考慮されていません。保険が適用されるため費用の負担が少ないことが一番のメリットです。



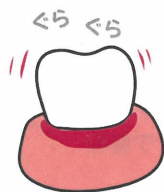
### 「保険適用外」

様々な素材が使える治療法などに制限がないため、耐久性、見た目、生体親和性、噛む力の強さなどを考慮した治療が可能です。差し歯を気付かれたくない、銀歯はイヤ、長持ちするものが良い、金属アレルギーの心配がある、といった要望にも対応できます。

### 素材の特性の違い

	ジルコニア	セラミックのみ	セラミック+金属	保険
見た目	◎	◎	◎	△
前歯の透明感	◎	◎	○	△
変色しにくい	◎	◎	◎	△
強度	◎	○	◎	○
体へのやさしさ	◎	◎	○	△

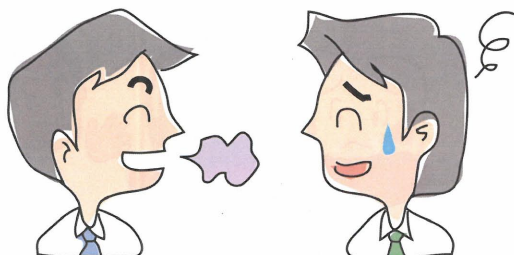
## 歯周病の影響は歯ぐきだけではありません。



歯周病は歯を支える骨を溶かす病気です。進行すると歯を支えられなくなり、歯を失うこととなります。この歯周病は歯や歯ぐき以外にも様々な影響をもたらします。

### ◆口臭の原因

自分では気づかないうちに周囲の人に嫌な思いをさせてしまう口臭。口臭の原因にもいろいろありますが、食べ物による一時的な臭いとは違い、歯周病が原因の口臭は歯周病を改善しない限りにおきます。



### ◆歯周病と糖尿病の関係

糖尿病の恐ろしさは合併症ですが、歯周病は6番目の合併症と言われています。糖尿病が進行すると血糖値が高くなり、歯ぐきの毛細血管の血流が悪くなり歯周病が悪化。歯周病になると歯周病菌への免疫反応によってインスリンの働きを妨げ糖尿病が進行。このように歯周病と糖尿病は相互に影響することが分かってきました。

